

12月25日(金) 搬入発売



●<sup>キミ</sup>君の瞳に愛を<sup>ヒトミ</sup>ささやく<sup>アイ</sup>

新刊

著: 戸田環紀(ill: 麻生ミツ晃)

本体870円+税

おまえの名前の「茜」色、一度でいいからこの目で見てみたかった

〈あらすじ〉

やり手のディーラーである遠野秋文は、ある日、藍沢茜という年下の男性と出会い、身体を重ねる。藍沢は新人のアーティストで、ギャラリーで働きながら油絵を描いているらしい。過去グラフィックデザイナーと付き合い散々な別れを経験した遠野は、アーティストにあまりいい印象を持っていなかったが、優しく温かな人柄に惹かれ、藍沢と付き合うことにした。一心に愛し支えてくれる藍沢のおかげで、長年抱えていた家族との関係にも整理が付き、遠野にとっても藍沢はかけがえのない相手になっていた。しかし、画家である藍沢に決して言えない「秘密」が遠野にはあった。その「秘密」を打ち明けるべきか隠し通すべきか…。決断できずにいた矢先、小さな出来事がきっかけで藍沢に別れを告げられてしまい…？

ISBN:978-4-344-84775-0



●<sup>ヨナキドリ</sup>夜啼鳥は<sup>シッコク</sup>漆黒の<sup>トラオウ</sup>虎王の<sup>アイ</sup>愛を<sup>ハラ</sup>孕む

新刊

著: 篠崎一夜(ill: 香坂透)

本体900円+税

獣人王と子を孕める異端の皇子——後宮で育む運命の恋

〈あらすじ〉

亡国の王子ルスキニアは、男でありながら子を孕み、その美貌が人心を惑わすがゆえに“娼婦”と蔑まれる希少な徴(しるし)を持って生まれた。北の塔で一人きり育てられたルスキニアは、生き残った民の命と引き換えに故国を滅ぼした若き王アルアクバルの元へ妃として差し出される。血に飢えた残酷な王と噂されるアルアクバルの後宮は、しかし寵姫が誰一人いない寂しい庭園だった。戸惑うルスキニアの前に現れたのは、見上げるほど大きく美しい漆黒の虎。発情した獣に幾晩も犯されたルスキニアは、それがアルアクバルの獣化した姿であり、自分が聖なる獣の子を宿すために求められたことを知るが…!? 孤独な虎王と黄金の鳥籠に囚われた王子が夜ごと交わる、エキゾチック・ファンタジー。

ISBN:978-4-344-84776-7